

「働くということー現代の労働組合」

～ワーク・ライフ・バランスに関する取り組み（電機連合の事例）～

2009年5月22日

電機連合 総務財政部

中央執行委員 斉藤千秋

1. はじめに ～自己紹介～

2. 電機産業・電機連合の状況

(1) 生産額、就業者数

(2) グローバル競争と事業構造改革

(3) 組合員数・構成組織数

(4) 長時間労働の課題

①年間所定労働時間 平均 1883 時間（2008 年電機連合調査結果）

②時間外労働は年間一人平均 281 時間（2008 年電機連合調査結果）

③年休取得は組合員一人平均 年間 15.0 日（2008 年電機連合調査結果）

(5) 男女平等政策の取り組み

①女性比率:21.9%（1990 年）→17.0%（2008 年）

②平均年齢・勤続年数(H18 年度)

平均年齢：36.8 歳

平均勤続年数：14.9 年 <参考>厚生労働省 勤続年数 8.8 年

③女性管理職比率

	電機連合加盟組合の実態	厚生労働省調査結果
係長	6.4%	10.5%
課長	1.8%	3.6%
部長	1.1%	2.0%

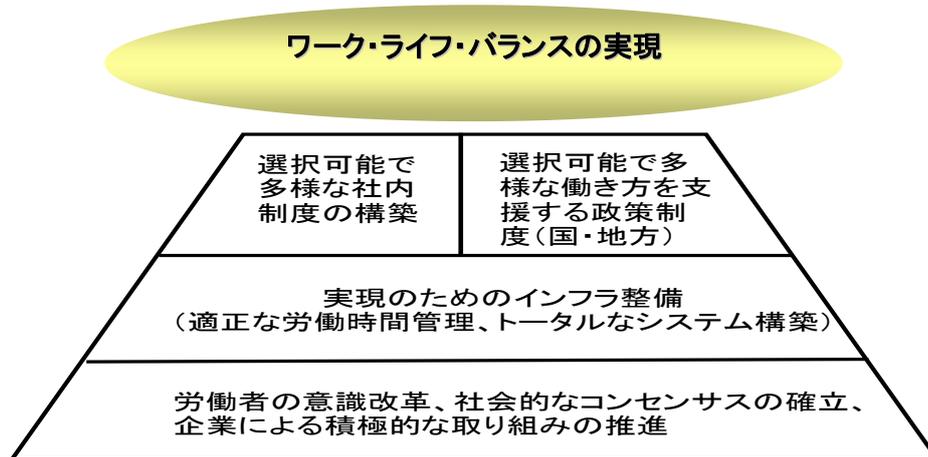
④労働組合の女性役員比率・・・2008 年度の参画実態＝8.2%

3. 電機連合のワーク・ライフ・バランスの取り組み

(1) 電機連合の考えるワーク・ライフ・バランス

1人1人が自らの望む生き方とライフスタイルを自覚し、家族・職場・企業・地域を含む周囲との調和をはかりつつ、自らのライフスタイルと両立し得るワークスタイルを人生全般にわたって築くこと

(2) 電機連合が考えるワーク・ライフ・バランスに向けた取り組みイメージ



(3) ワーク・ライフ・バランス5ヵ年プログラム

2007年度～2011年度までのワーク・ライフ・バランス実現に向けたアクションプログラム

【具体的な実現項目】

- ①総実労働時間の短縮（労働時間、休日、休暇）
- ②多様な働き方
- ③両立支援（次世代育成支援、介護支援）
- ④キャリア開発支援
- ⑤社会・地域貢献

4. おわりに

①雇用創出型ワークシェアリングとワーク・ライフ・バランス

②働き方改革の推進

③これから社会人となる皆さんへ

以上